

当日の主なやりとり				備考 (補足説明など)
		市民の発言	市長の発言	
1	5月14日(火) 前田集会所	43号線の「打出交差点」の件です。市議会の質疑応答を見ると、踏切の立体交差に関しての話題がありました。私から見ても、日本で一番危険な交差点だと思っていますが、立体交差とする以外にも、打つ手はあると思っています。南北の通りが、南行き右折・左折とあり、また打出駅から出てきた歩行者が非常に多く、信号が変わる1分で処理ができないんですよ。普通は右折専用信号があるときれいに交差できるんですが、真ん中に橋脚があるためにそれできません。1つの案ですが、南行きと北行きの信号を分ければいいのではないのでしょうか。今日は時間もないですが、ほかに10個ほど案があります。ぜひ、市長も担当の方と打合せをしていただきたいと思います。	実は、先ほどまで国道の担当者の方と話していました。まさに今おっしゃった打出交差点と、芦屋高校前で事故が多いということで、国が今どういう対策をしようとしているのか説明を受けてきたんです。打出交差点では、真ん中に橋脚があり見通しが悪い点が課題ということで、国もいろいろと対策を考えているそうです。我々からも問題点を伝えたところ、協議をしていただけるとのことでした。また、芦屋高校前の交差点の話もあったのですが、右折時の事故もですが、東西の追突事故が多いそうです。その理由を、ETC2.0という車の動きを分析できるものを利用して、なぜ事故に繋がったのかを今年度分析し、改善に繋げるということでした。信号のことは、警察とも連動する必要があると思いますので、また話をしてみたいと思います。	
2	5月14日(火) 前田集会所	先ほどの打出交差点の話ですが、交差点の問題を解消しても、踏切がある限り渋滞が続くと思います。芦屋は、隣の西宮市や灘区と比べても、高架化が進んでいません。高架化のことで何かもし検討されていることがあれば、教えていただきたいです。高架ではなく、下をくぐることはどうでしょうか。	西も東も徐々に高架化していますが、芦屋市内は高架化されていないんですよ。線路を高架にしようと思うと、高架の工事中、別のところに線路を通さなければいけないのですが、芦屋は線路横がすごく狭く、その場所が取れないというのが、大きな理由です。ただ、一度に高架化することは難しくても、どこならできるのかということは考えていかなければと思っています。ただ、大工事になりますので、それこそ皆さんにご意見を伺いながら、考えていきたいと思っています。また、下をくぐるには、距離もありますし、相当なお金がかかるようです。	
3	5月14日(火) 前田集会所	ルネサンス クラシックス芦屋ルナ・ホールの東沿いに南北の歩道がありますが、片方が途中で切れています。私も車で通ったりするのですが、途切れている歩道の先に2号線を渡る横断歩道があるせいか、そちらを歩く歩行者も多いため、かなり危険で怖いです。「途中まで歩道があります」という看板もありますが、あまり効果が無いように思います。いっそ途切れている歩道は無くしたらとも思います。	おそらく幅員が狭いせいで歩道が途切れてしまっているのでしょうね。関連する話ですが、同じように狭い道に芦屋川沿いの道路があります。現在は、川沿いの道が東西どちらも南北方向に交通が可能ですが、交通状況を改善するために一方通行にできないかということで、周りへの影響がどう出るかのシミュレーションをやっているところです。現在は芦屋川沿いの道を考えていますが、他にも考えていくべきところはありますので、引き続き考えていきたいと思っています。	
4	5月14日(火) 前田集会所	昨年10月から指定ごみ袋制度が始まりましたが、あのごみ袋はバイオディグレーダブルではないですよ。ごみが減ったというお話もありましたが、ごみ袋だけでも、市の4万5,000世帯が週に2枚ずつ使うと、9万枚のごみ袋が出て、相当の量です。もっとパッキングを簡素化するなど、プラスチックごみを出さないような工夫が必要だと思っています。	これはまさに、企業を含め、市役所だけでなく皆で取り組まなければならないことです。指定ごみ袋は、バイオディグレーダブルではないですが、ごみ袋に使っている原料は、普通のプラスチックではなく、環境に配慮した成分を使っており、燃やした際の二酸化炭素の量などは抑えられるようにしています。少し手触りも違いますよね。プラスチックの話が出ましたが、プラスチックごみを分別するかどうか、現在外部の有識者の方々に色々考えてもらっているところで、その中でそろそろ芦屋市も分別した方がいいというお話をいただいています。今すぐということにはなりません、ゆくゆくはプラスチックごみの分別をしていくことになると思っています。	本市の指定ごみ袋の製造仕様として、CO2が排出抑制される素材の使用を求めています、生分解性までは仕様に入れていません。
5	5月14日(火) 前田集会所	他市のごみ袋と比べて、破れやすいように思います。	破れやすいですか。むしろ分厚くして破れにくくしたつもりです。実は指定ごみ袋を導入する際、2つのやり方を検討しました。1つは、市で全ての仕様、金額を決めてしまうやり方。もう1つは、ごみ袋を作る上で満たしてもらいたい基準を市が決め、それを満たすものを企業に作ってもらい、値段の設定も企業が行うやり方です。当然後者の方が競争原理が働き、安くなるということもあって、後者の方法を取っています。処理費用などを値段に含めず、袋代だけいただいていますので、そういう意味では、他の自治体より値段は安いと思います。こういうやり方ですので、メーカーによって微妙に仕様が異なっていたり、扱うリットル数が異なったりします。	
6	5月14日(火) 前田集会所	燃料ごみについて、14、15年前に燃焼温度を上げて焼却量を増やすことが話題になったかと思います。その後、いろいろなメーカーが燃焼率を上げた高炉を開発していると思いますし、芦屋市の焼却場を高温度化するというのはいかがでしょう。	焼却炉をどういうものにするかによって、効率も大きく変わりますので、今仰っていただいたことは非常に大事な考え方だと思います。今後、残念ながら芦屋市も人口減少は避けられません。プラスチックを分別することも考えると、燃えるごみ、燃やすごみはどんどん減少していきます。少量を少しずつ燃やすという形だとやはり効率は上がりません。神戸市では人口も芦屋市の15倍で燃やさなければいけないごみも多いですので、いい炉を使っています。効率を考えただけでも、一緒に燃やす方がいいのではと考えているところです。	

当日の主なやりとり				備考
		市民の発言	市長の発言	(補足説明など)
7	5月14日(火) 前田集会所	食用油の廃油の処理について、芦屋市は遅れていると思います。コスモ石油などは廃油を原料として、SAFを精製する取組をしているそうですが、芦屋市も廃油の処理について率先して取り組んでみてはいかがでしょうか。	皆さんは油の処理はどうされていますでしょうか。SAFというのは、航空燃料をバイオ燃料から作るといったものなのですが、面白い取組だと思います。他の自治体の取組なども確認してみたいと思います。	他都市の中には廃油リサイクルの取組を進めている自治体がありますが、本市では廃油リサイクルの取組は行っていない。資源としての循環を目指す上でポイントとなるのは、環境処理センター内に分別された資源を置くスペースがあることに加え、廃油の受付場所の確保です。現在の施設では当該スペースの確保が困難であり、今後、資源化施設の建設が進んだのちに対応を検討することになると考えます。
8	5月14日(火) 前田集会所	指定ごみ袋について、1ついい話があります。私は市境に住んでいるのですが、これまで堂々と神戸市の袋でごみを出す方がいました。それが指定袋となり、それ以外は収集できませんというポスターを貼ったところ、それがなくなりました。ありがとうございます。 あとはカラス問題ですね。カラスは大変賢く、気配を察知したら逃げますし、いくらネットをかけてペットボトルを置いても破られてしまい、ごみが散らかるということが続いていました。自治会で、アルミ支柱の折り畳み式のボックスに変えたところ、嘘のようにカラス被害がなくなりました。	カラス問題については、多くの方からお話をいただいております、実は今年度、新しいカラス対策を始めようとしています。何かというと、鷹を使うという方法なんです。実際、西宮市が数年前に行ったところ、割と効果があったようなので、芦屋もそれをやってみようとしています。そもそもカラスがたくさんいるという状況をどう根本から解決するかに取り組んで行きたいと思いますので、街を歩いていて鷹を見つけたら、そういうことだと思ってください。	
9	5月14日(火) 前田集会所	神戸市とのごみの連携について、お金についてはどういった話になっているのですか。例えば、減価償却なんかも、芦屋市が負担するということでしょうか。	まず、資料の「ゴミの出し方は今まで通りです」というところですが、神戸市に持っていく前に、1度芦屋で全てのごみを集めてから、大型車に積み替えて持っていくんですね。お金の話については、今まさに計算しているところで、具体的な数値は今後議会にも説明していくことになります。ただ今よりも、大幅に費用がかかることは我々としてもできませんので、それについては引き続きしっかりと考えていきたいと思います。	
10	5月14日(火) 前田集会所	数年前、ごみに水銀が混じって基準値を超えたことがありましたが、そういったことが発生した際には神戸市に対してどのように対応するのでしょうか。	芦屋市から運搬するごみに水銀が紛れてしまった場合ということですね。確かに考えておくべきことですので、担当課とも相談させていただきます。	芦屋市から運搬するごみに水銀が混ざり、神戸市の施設に支障をきたした場合は、その処理に要する経費を芦屋市が負担することになると考えます。なお、指定ごみ袋導入後の実績としては、資源ごみの分別が進んでおり、ごみ分別の意識が高まっているところですが、水銀が混入するような事例がないよう、ごみ分別の更なる徹底に向け周知啓発に努めます。
11	5月14日(火) 前田集会所	景観に配慮してのことと思いますが、阪急芦屋川の周りにスーパー等がなく、住みにくく感じています。駅前というのは市の顔になる部分ですので、やはり市民が暮らしやすく、住み続けられるまちにするためにも、改善して欲しいと思います。空き店舗も多いです。	阪急芦屋川付近は、送り迎えのための路上駐車も結構危なったりしますよね。交通安全のことを考えても、何とかしないといけない場所だという認識はしています。ただ、今はJR芦屋駅周辺に取り掛かっていますし、先ほどお話にあった阪神の立体交差のことも考えなければなりません。課題としている場所が結構多いんですね。どうしても全てを一気に解決というわけにはいきませんので、何ができるのかといった話も含めて、地元の方々とも話していかなければと思っています。あの辺りは古いエリアですし、歴史や伝統を守っていききたいという方もいらっしゃいますので、便利にしていこうととの両立を考えていきたいと思います。	
12	5月14日(火) 前田集会所	涼風町の護岸について、非常にきれいな護岸で、これからもずっと後世に残していきたいという思いがあります。東駐車場周辺は現在釣りができるエリアになっているのですが、釣り人の不法投棄や煙草のポイ捨てが問題になっています。今は昔よりもマシなのかもしれませんが、以前から住んでいる方は前の状態に戻ってしまうのではと心配されている方もたくさんいます。煙草は人の少ない場所に喫煙所を作ったりすれば、禁止にするまではしなくてよいとは思いますが。	護岸工事後に試験的に一部開放しているところで、昔に比べれば良くなってきている部分もあるけれど、まだまだということですね。マナーの部分と言ってしまうかもしれませんが、皆であの場所を守っていかなければなりません。煙草については、煙草の火が小さいこどもの顔の辺りにくるのが危険、という理由で市内の歩き煙草は全面禁止にしています。市内の方はご存じの方も多いと思いますが、市外から遊びに来て知らなかったということも、もしかしたらあるかもしれません。我々もデッキブラシを置いたり、マナー啓発の看板を置いたりしてはいるんですが、今後も考えていきたいと思っています。	

当日の主なやりとり				備考 (補足説明など)
		市民の発言	市長の発言	
13	5月14日(火) 前田集会所	先日、須磨区が主催するウォーキングに参加しました。海、川、山の3つのコースがあったのですが、何とそれぞれの場所の環境を守るボランティア団体の方々が主体となって、区を巻き込みながら一緒に開催されていたのです。私は最近芦屋市に越してきて、ボランティアをしたいと思い探したこともあるのですが、何があるのか分かりませんでした。須磨海岸に行った際に、「10年前の須磨海岸ではとても泳げませんでしたが、1か月に2回皆で清掃をしているから、これだけ皆また泳げるようになりました」という説明を受けました。看板や啓発ももちろん必要だと思いますが、そもそもごみが1つもなかったらよそから来た人でもポイ捨てができないんだなと感じました。先ほどの話にも繋がりますが、そういうちょっとした会やイベントなどを市が主導となっていたければ、芦屋市がもっとよくなると思いました。	芦屋にも海や川、山の清掃をしてくださるボランティア団体があるのですが、知らない方も結構いらっしゃるかもしれませんね。これから夏にかけて、環境に関するイベントや、ボランティア団体の方々と一緒にやるような企画を、市民センターやリードあしやでいろいろやっていきますので、ぜひチェックしていただければと思います。我々ももっとアピールできるようにしていきたいと思います。	
14	5月14日(火) 前田集会所	ボールで遊べる公園があまりないと思います。私の家の近くの公園はボール遊びが禁止されていたり、別の公園はボール遊びをするには小さかったりします。車通りが多い道路にボールが出てしまっても危ないですし、公園に柵を作ることは難しいのでしょうか。また、小中学校の校庭を放課後に開放して、地域のボランティアの方が見守るようにすれば、地域の活性化にも繋がると思います。	公園でのボール利用のことはよく話にあがります。堂々とボール遊びができるのは中央公園が総合公園くらいですかね。危険に繋がる可能性があるということで使えないのだと思うのですが、小さい子どもがやわらかいボールで遊ぶのはいいんじゃないかと思います。校庭の解放などもたまにやっています。	こどもたちが数人でする柔らかいボールでのボール遊び（キャッチボールなど）は、他の利用者と譲りあいながら利用できるという観点から、「自由使用」と判断しており、禁止ではありません。ただ、バットなどの用具の使用や、硬いボールを使用する野球、強く蹴るサッカーなど、他の利用者に危険がある、迷惑となるような強いボール遊びは禁止です。また、十数人で試合をして広い範囲を占有し、他の人が利用できない使い方は独占する使用となるため禁止です。ボールが近隣の住居に入らないような配慮をお願いします。他の利用者に十分配慮して遊びましょう。 ◆上記は市内公園で共通のルールとしています。 https://www.city.ashiya.lg.jp/douro/koronaenkai.html
15	5月14日(火) 前田集会所	災害時の避難のお話で、在宅避難のご提案がありましたが、自分の家が安全かどうかの確認はどうしたらいいのでしょうか。耐震診断や水害に耐えられるかなども含め、市で診断してもらえたり、補助はあるのでしょうか。大事なものは、それぞれの診断結果を市が集約し、それを市の計画の中に盛り込んでいくことだと思います。各自で行った診断情報を共有できるような形で制度化ができれば、十分市の計画に盛り込んでいけるのではないかと思います。いくら自分の家が大丈夫でも、隣の家が崩れてしまっは意味がないですし、空き家問題なども絡めて考えていただければと思いました。	地震の際に崩れるかもしれない家の把握が必要ではないかということですね。自宅の安全性については、まずその土地が安全かどうか、ハザードマップで確認してください。また、自宅が耐震化されているかどうかは、建てられたのが新しい耐震基準が始まった後か前かというのが1つの基準です。新しい耐震基準の始まる前であれば、おっしゃる通り耐震診断をしないと分からないところだと思います。これについての啓発も考えていきたいと思います。ありがとうございます。	自宅の安全性の確認については、自宅が土砂災害警戒区域に立地していないか、洪水・高潮・津波・内水の浸水想定区域内に立地していないか等をご確認ください。
16	5月14日(火) 前田集会所	JR芦屋駅の北側から芦屋川までの道の路上駐車が非常に危ないと思います。両側に車が並びますし、その間を車やバス、自転車が通るわけですが、残りのスペースが非常に狭く危険です。駅が近いので駐車場も必要だとは思いますが、あの区間の車とスペースの問題を考えていただきたいと思います。	路上駐車場の件ですが、あの辺りはもともとJR芦屋駅北側から芦屋川の西側にかけてだけでなく、もっと広範囲で路上駐車が問題となっていました。本当に危険でしたので、今は駐車だけでなく、停車も禁止になっています。全体を駐停車禁止にしたため、当初は不便だという声もいただきましたが、徐々に安全になってきたとは思いますが、そういった経緯で、この駐車場がないと困るという方々もいらっしゃいますので、路上駐車場を無くすことは難しいですが、そういうお声があったということはちゃんと伝えていきたいと思います。	

当日の主なやりとり				備考 (補足説明など)
		市民の発言	市長の発言	
17	5月14日(火) 前田集会所	保育園の件ですが、孫が近くの公立保育所に入れませんでした。このこどもの少ない時代に、待機児童が百何人いるとも聞いています。待機児童は緊急の度合いで点数がつけられるそうで、2人待ちだと言われたとしても、後から緊急性が高いこどもが申し込めば入れず、結局、母親が仕事を辞めるか、引っ越ししかありません。2、3歳の凄く大事な時期に、同じ年齢の友達もいないまま、マンションの一室で過ごさせていいのかなと思います。若い世代が芦屋市に住めないようでは、それこそ市の将来にも関わります。	言い繕っている訳ではないですが、芦屋市が保育所に受け入れられる人数の枠と、保育所を希望する方々の人数を比べた際の待機児童は現在1桁台なんです。やはり皆さんそれぞれ希望や条件がありますので、全てのご希望に添えるわけではありませんが、保育士の方々の待遇などを考えたとき、ぎりぎりの状態でやったださっているところもありますので、安易に枠を広げるのは難しいという側面もあります。ご理解いただければと思います。	
18	5月14日(火) 前田集会所	自転車の交通マナーについて、芦屋市道路ネットワーク計画というものを3年ほど前から始めていますよね。そのときのチラシがあるのですが、この内容をあしやトライあぐるで放映してはどうでしょうか。もしくは地道に、市の職員が、利用の多い駐輪場でチラシを配ってもらえばいいと思います。またヘルメット着用についても、自転車安全利用五則を協力していただける駐輪場に置かせてもらい、契約の際などに渡していただいたらいいのではないのでしょうか。	ありがとうございます。今では自転車に乗るときは基本ヘルメットを着用してくださいとなってますし、併せて夜間のライト点灯や原則車道ということは、引き続き啓発していきたいと思います。	
19	5月14日(火) 前田集会所		本日お話ししたことで、皆さんが家に帰ってすぐできることは在宅避難のことです。まずはハザードマップだけでも見ていただければと思います。今まさに、新しいハザードマップへの更新も考えておりますので、年度内には新しいハードマップがご自宅に届くと思いますので、ぜひ捨てずにご自宅の場所をご確認ください。また、できればよく行く場所やお勤め先なども見ていただければと思いますので、よろしくお願いします。では、本日は1時間強にわたりお付き合いいただきまして、ありがとうございました。	令和6年7月に全戸配布を行いました。

当日の主なやりとり				備考 (補足説明など)
		市民の発言	市長の発言	
1	5月16日(木) 奥池集会所	空き家対策について伺いたいと思います。空き家率は全国で13.8%、神戸市で13.3%、芦屋市は5.8%ということで率を見れば少ないのですが、奥池で言えばかなり多いのではないのでしょうか。空き家を減らすことは、防災上のメリットもあります。市のホームページを拝見したところ、市の空き家対策は3つ書いてあって、うち2つは補助金や税制上の優遇措置があるというもの。3つ目に、相談窓口のことが書いてあるのですが、基本的には「当事者同士で話し合ってください」と書いてあるんです。これでは何もしませんと言っているようなものです。一方神戸市では2021年から、神戸市空き家等対策計画という5か年計画を立て、対策を推進しようとしています。芦屋市としても、何か具体的な対策はお考えでしょうか。	空き家の話について、結構お声をいただいているのですが、まず、一見人が住んでなさそうな家でも、実は別の場所に持ち主がいて「あえてその状態で置いている」と言われてしまうと、行政としては介入しづらいといったケースがたくさんあります。5.8%という数字からも分かるように、管理不能となっている空き家の数は他の自治体に比べれば、大きくはないというのが現状です。ただ、防犯という観点からも、空き家問題を懸念している方々がいらっしゃることは分かっています。まさに今、様々なまちづくりの計画を一気に作り直しているところで、その中で空き家対策についても話し合いをしているところです。この1年、2年で事業を作っていこうと思っています。	
2	5月16日(木) 奥池集会所	空き家の問題について、2019年頃には、空家等対策の推進に関する特別措置法ができたのを受けて、周辺都市すべてが何らかの施策を打っていたところ、芦屋市だけが何もしておらず、市に聞いても調査中とのことでした。2020年にも同じことを聞いたのですが、やはり調査中との回答でした。今はどうなんでしょう。芦屋市の政策はあるんでしょうか。倒れてくるような空き家はないかもしれませんが、空き家の庭の木が、歩道が通れないぐらいにはみ出ているところもあります。あるいは空き地に車を停めて、道に40センチほどはみ出しているようなこともあります。道路・公園課の方も手紙を出してくださっているのですが、全然改善されません。	先ほどもお話しした通り、今話し合いをしている計画の中で考えていくことになります。開き直ってるように聞こえるかもしれませんが、すぐやらなければならないほど状況は悪くなかったということだと思います。これは奥池の例ではありませんが、同じように歩道に木がせり出している家がありまして、市役所もずっとその家の方に切ってくれませんかと言っていたのですが、全然対応してくださらなかったんですね。結論から言うと、細かい手続を全部踏んで、昨年7月に「代執行」というものを行いました。代執行が何かというと、「従わないんだったら、もうこちらで強制的に行いますよ」というもので、最終的には役所で木を切ったんです。ただそれは、何年もかかってようやくできた話なんですよね。日本では、私（わたくし（個人））の権利に対して行政が無理やりやるというのは相当厳しく、いろいろな手続を踏まないといけないようになっていますので、そういう意味では対応に時間はかかることはご理解をいただければと思います。	
3	5月16日(木) 奥池集会所	正直に言って、市役所の職員がよくないと思います。市役所に行く機会も多いですが、聞かない、言わない、何もしない。これじゃダメですね。あえて市役所の方の名誉のために言いますと、日頃、市民に接している窓口の方は市民のために考えようとする姿勢は示してくださります。しかし結局、中間管理職の方が「今までやってきたやり方と違うから特別扱いはできない」といった判断をすることが多いです。ケース・バイ・ケースで考えることができないんです。ひどい職員は減給するぐらいのことをしないと、職員の人は動かないと私は思います。職員の方多くは芦屋市民じゃないですしね。	ご意見ありがとうございます。就任して1年、職員と話してきて、職員は非常に真面目だということを感じています。職員は市全体の奉仕者ですので、みんな同じように、というのが公務員としての原則です。ただ、ルール上はできないけれど代替案はないのかということ話し合うのがまさに対話だと思いますので、できないと思ったとき、今までのやり方を少し変えてできることはないかを考えてほしいと今まさに職員に伝えているところです。窓口時間の話がありましたが、市役所の窓口時間は9時から17時半と、職員の就業時間と同じです。つまり、ぎりぎりに窓口に来られた場合、対応した職員は残業になってしまいます。もちろんぎりぎりに来られるのが悪いのではなく、そういう仕組みになっているのがよくありません。銀行の窓口も15時に閉め、その日の業務整理をして、定時に帰れるようにしているわけですよ。残業イコール人件費ですので、我々はきちんと業務時間内に仕事が終えられる仕組みを作っていかなければならないということで、実はこの9月2日から窓口の閉庁時間を17時に変更します。そうなれば、ぎりぎりに来られても、余裕を持って対応できます。17時以降にしか来れない人はどうするかと思われた方もいるかと思うのですが、その時間に来られる方はわずか2%というデータが取れました。その2%の人をどうするかという話でもあるのですが、我々としては業務を適正に行うことを大事にしていきたいと思っていますし、オンラインでの手続きもどんどん進めています。例えば引越しの手続きなどは事前にどういった手続きが必要か分かるようにしたり、お悔やみの手続なども事前にデータをいただければ、市役所で事前に準備をして、お待たせせずに対応ができるといったことも進めています。	
4	5月16日(木) 奥池集会所	市の職員さんの話で、住民票を取りに行くのに、閉庁1分前ぐらいのぎりぎりの時間に行ったんですね。そしたら職員の皆さんが、帰り支度を始めていて、今来やがったといった顔をして、すごく嫌そうな顔をされたんですね。1分あればできる話で嫌な顔をする人は、芦屋市民じゃなく、他の市から来ている人なんだろうなと思います。		
5	5月16日(木) 奥池集会所	先ほど、市長が芦屋市のことを「うち」とご発言されたことに非常に感動しました。なかなか市長が「うち」とは言えないと思います。そういう姿勢を見せていられれば、職員さんは絶対ついてくると思います。	ありがとうございます。	
6	5月16日(木) 奥池集会所	対話集会の時間帯について、仕事でなかなか行けなかったのですが、今日来て、すごくよかったと思っています。いろいろな世代がいますので、夜の開催も増やしていただければと思います。	皆さんのご意見もいただきながら、いろいろな時間帯での開催を予定しています。引き続きよろしくお願います。	

当日の主なやりとり				備考 (補足説明など)
		市民の発言	市長の発言	
7	5月16日(木) 奥池集会所	50年ほど前に造成された時から奥池に住んでいます。奥池の住民は裕福な方が多いですが、私は庶民です。一部500mほどを通るのにも有料道路を通らなければいけませんし、最近ではバスも不便になりました。瀬戸大橋ができたときには、小さな島の人 は道路を通るのに通行券もらったりしていましたが、そういった措置が、全く行政としてされてきませんでした。これでは奥池の地を離れざるを得ません。同じような理由で離れた人もたくさんいます。そういうことも行政として考えていただきたいと思います。	自分の家に帰るのにお金払うのは、と思うお気持ちはすごくよく分かります。分かるのですが、道路の通行料は、一般的には整備した分のコスト回収することを前提にしていますので、全部を回収できていない段階では、通行料をなくすのは難しいかと思っています。奥池の住民にだけ例えば通行券を配るような話は、住民の方のお気持ちも理解できるのですが、限られた財源の中ではどうお金を配分していくかを考えたときには、やはり難しいと思います。我々として、奥池地区に住む芦屋市立小中学校へ通学する小中学生への通学費助成などは数年前より始めています。	
8	5月16日(木) 奥池集会所	先ほどの有料道路の件ですが、私の場合は、それは承知で住んでいます。ある意味、人が訪れづらいという意味で泥棒などからは守られてると思います。全部カメラに撮られていますしね。少なくともそれを承知でここに住んでる人もたくさんいるということはお伝えしたいです。それについて市の財政を圧迫するようなことは言いたくありません。	ありがとうございます。確かに有料道路だからこそ、泥棒が来にくいといったことはあるかもしれませんね。	
9	5月16日(木) 奥池集会所	市が、金を出してやる必要はありません。この道は道路運送法上の道路ですが、道路法の道路であれば、通行料は要りません。国の法律を変えて、国の責任でやっていただくように、市もからも声を上げてくだされば、住民も無料で通行できるのではないのでしょうか。		
10	5月16日(木) 奥池集会所	住民がお金を払わないと家に帰れないというのは憲法違反だと思いますし、解消すべきです。皆が同じような条件で生活できるようにするのが本当の国の施策でなければいけません。会社に交渉してもらって、住民は通れるようにしていただいてもいいです。	(市民同士のやりとりを受けて) やはり同じテーマでも、同じ市民で同じ場所に住んでいても、いろいろな見方がありますね。有料道路の件は、今日中に何か結論が出るということではないですが、そういうことを思っていらっしゃる方がいるということを私が知りましたので、引き続き皆さんとお話ししていければと思います。	
11	5月16日(木) 奥池集会所	芦有道路がそういった形で住人を無償にしてしまったら、おそらく今のいい道路の状況は保てないのではないのでしょうか。結局のところ、今は銀行が手を入れて、何とか賄っているって状態だと思います。確か住民が払っている定期券の収益は、3割未満ぐらいだと聞いたことがありますが、3割収入が減れば、今のサービスを維持できません。		

当日の主なやりとり				備考
		市民の発言	市長の発言	(補足説明など)
12	5月16日(木) 奥池集会所	こどもの安全安心ということで、いじめ問題がありましたよね。顛末がはっきりしない中、公表についてのガイドラインを教育委員会が出していますが、結局、情報を公表するか否かを判断するのは教育委員会となっています。ということは、不都合があれば、公表しなくていいということになっていませんか。再発防止策もですが、市と学校の対策はあっても、なぜいじめが起こったかには全く触れられていません。個人情報に関わらないこと、つまり市や学校がどういうミスをしたから起こったかというところは公表しても差し支えないと思うのですが。また、いじめが起こった後の初動についても全く書かれていません。7か月かかって重大事案にして、結局お子さんは転校を余儀なくされた。もっと早く動いていたら、転校にはならなかったのではと、すごく引っかかっています。なぜ今回のような結果になったのか、ぜひ公表していただきたいです。	公表についてのガイドラインは、今回の話を受けて作っているものではなかったと思います。数年前、法律ができたことを受け、昨年7月にガイドラインを作っていますので、いじめの話があったから作ったというわけではありません。教育委員会は12月の段階で調査委員会から、今回の問題点や改善点などの指摘をたくさんいただいています。それに対し、市及び教育委員会がこういう再発防止に努めます、という別の資料を出しています。少しかみ砕いて説明しますと、私がいる市長部局の対応と教育委員会の対応は、厳密には分かれており、まずは教育委員会が対応し、適宜第三者委員会を立ち上げ、調査をしてもらい、結果を教育委員会と被害者の方に報告するという立てつけになっています。なぜそこに市長部局が関わらないかということ、調査がおかしいのではないかと考えた際に、異議申立てができるようになっており、そうなれば市長部局で再度調査をする、という仕組みになっています。今、教育委員会が弁護士の先生方を入れて調査をして、再発防止策をまとめています。ガイドライン自体はその前に作っているものですので、そこに今回の件は具体的には書かれていませんが、別のところでしっかり対応しています。こちらについては、2月の所管事務調査でも資料が出ており、少し探しにくいかもしれませんが、ホームページにも掲載しています。また、「芦屋市立小学校におけるいじめ重大事態に関する報告書」の調査結果を受けた再発防止策」というものも、先月4月にウェブサイト公開していますので、ご確認くださいと思います。	令和3年12月に発覚し、その後、いじめ重大事態と認定した事案についての報告書のホームページの掲載予定時期は、ホームページでご案内している通り、現在調整中です。今回の件については、学校や教育委員会が当事者として厳しく事実に向き合うことを公表の意義として、重々受けとめているところです。原因究明に係る報告書の掲載についても、「いじめ重大事態に関する調査報告書の公表について」に基づき、適切な対応を進めてまいります。
13	5月16日(木) 奥池集会所	(市長の発言を受けて) 再発防止策は確認しました。見た上で結局、再発防止策は書いてあるのですが、なぜ起こったのかという原因が書いていないのです。第三者委員会でも重大事案に認定するのが遅きに失したと言われているのに、なぜ遅きに失した事になったかが分からないのです。	この件について、議会では説明しています。ただ、それを公表するかどうかというのは、被害者の方のご意向というところがありますので、ご理解いただければと思います。	
14	5月16日(木) 奥池集会所	芦屋市の指定ごみ袋がありますが、スーパーでも芦屋市の袋の中に入れてくれるようにはできないでしょうか。スーパーで袋を買って、それをごみ袋の中に入れると結局二重になってしまいます。スーパーと市が連携してどうにかできないでしょうか。	過去にスーパーから同じような問い合わせがあり、市としてはやっていいですよと答えています。指定ごみ袋は、製造に係る条件は課していますが、値段や売る場所などは全て民間に任せているんですね。10枚入りで売られていたり、30枚入りで売られていたりするのもそういう理由です。同じようにばら売りしていただいても、我々としては構わないんです。なぜこういう仕組みにしているかというと、民間任せにすることで競争原理が働き、値段が安くなるんですよ。他の自治体と比べても、値段が安いんです。ですので、我々としてはやっていただいてもいいですし、議会でそういう質問も受けたこともありますので、スーパーの方々にも伝わって、やってもらえればいいなと思っています。	
15	5月16日(木) 奥池集会所	(英語での発言) 季節がよくなると、多くのスーパーカーが奥池にやってきます。おそらく100キロ〜120キロ近くスピードが出ている車と衝突しそうなこともあります。朝早くやって来て、スピードもかなり速く、車が行ったり来たりして、音もうるさいです。こどもたちが道を渡る場所ですし、対策などは考えていらっしゃいますか。特に晴れた日の土日にやってきます。また、奥池に交番がないこともお伝えしておきます。	皆に説明させてもらいますね。スーパーカーがたくさん来ている、という話で、ほぼ事故しかかったそうで、何か対策を打ってますか、というお話です。 (英語での発言) 多くのスーパーカーが奥池に来ていることは認識していきまして、対応すべきだと考えており、警察の見回りも実施しています。また、奥池に交番がないことも認識しています。対応について検討させていただきます。	
16	5月16日(木) 奥池集会所	市長は、「世界で一番住み続けたいまち」を創ると言われています。ここにおられる方のほとんどの方が、奥池は素晴らしい所で、住み続けたいと思っておられると思います。特にご高齢の方は老人ホームに入るのは絶対嫌、家族が下へ降りてきて一緒に暮らさないとと言われても嫌、と多くの方が言われます。私が思ったのは、自分たちが住みたい老人ホームを自分たちで作ればいいのかということです。老人が考える老人のための老人ホームを老人が作って、老人が運営をする。もちろん老人だけでは運営できないので、行政のサポートなどは必要だと思いますが。10年や20年、皆と一緒に行動すれば、できるんじゃないですかね。そういう発想を皆さん、聞かれたことがありますか。自分たちが住みたい老人ホームを自分たちで作る運動を起こして、行政に応援してもらいませんか。	これは本日参加されている皆さんに対するお誘いですね。ご意見ありがとうございます。	

当日の主なやりとり				備考 (補足説明など)
		市民の発言	市長の発言	
17	5月16日(木) 奥池集会所	いじめを少しでもなくすために、親たちに、どのような解決方法があるのかを知らせた方がいいと思います。第三者委員会に任せるとか、学校の先生に任せるとか複数の方法がありますが、学校の先生に任せると言っていないのに、学校で解決しようとしてしまったことがあります。そういう行き違いがありますので、親たちにももし自分のこどもにこういう事態が起こった時には、自分でどこに任せるのかを選べるということを事前にお知らせしていたら、もっと早く物事も解決できるのではないかと思います。	何か起こる前に、事前に、ということですね。ご意見ありがとうございます。	
18	5月16日(木) 奥池集会所	避難所の関係で、学校体育館へのエアコン導入の話がありました。しかし、いざという時に電気が通じなければ意味がありません。太陽光発電ができる蓄電池を体育館の上に置いていれば、どんなにライフラインが途絶えても発電はできます。避難された方々も快適に過ごせると思います。これは提案です。	ご意見ありがとうございます。	令和7年度に学校体育館へ空調設備の設置を行います。令和7年度に設置する設備においては、大規模災害時の使用も想定し、停電や都市ガスの遮断にも一定対応できる設備とする予定です。
19	5月16日(木) 奥池集会所	最近、非常にショックだったのが、高齢介護課にSOSネットワークの協力員をやりたいんですと申し出たところ、できませんと言われました。芦屋市の場合、一部の資格を持った方でないとできませんということでした。奥池町は、市の中でも高齢化率が高いです。実際に徘徊されている方を何度か助けたこともあります。隣の西宮市や伊丹市では一般人の協力員も募集されています。豊中市では特別なアプリを開発し、特に進んでいます。にもかかわらず、芦屋市ではできません。災害時の要援護者リストについても、防災安全課は自治会に持っていてほしいと頼みに来られる一方で、高齢介護課ではリストは出しませんと言われます。そういうアンバランスさが、市と市民が一緒になっていい町を作ろうとするときに、阻害していることがあるのではないのでしょうか。みんなで協力し合えるまちにしたいと思います。	やはり、行政だけでまちづくりをやるには限界があります。市の人口も、残念ながらどんどん減っており、我々も頑張ってはいますが、流れを止めるのは難しいと思います。市全体を見ても高齢化率がどんどん上がっているという中で、市民の皆さんと一緒に頑張ってまちづくりをやっていかなければならないと強く思っています。SOSネットワークの話は、昨年の対話集会でも出まして、その時は個人情報を取り扱うので、自分の情報を見られたくない人がいるんですよとお答えしていますが、西宮市と伊丹市ではできているんですね。恥ずかしながら今初めて知りましたので、じゃあなぜ西宮市でできて、芦屋市はできないのかということも考えながら運用について検討していこうと思います。ありがとうございます。	
20	5月16日(木) 奥池集会所		今日の対話集会の中では、それぞれの立場で、それぞれの思いを素直に言っていただき、市民の方同士でここまで議論が盛り上がったことを嬉しく思っています。就任から1年が経ち、こうやっていろんな声をいただき、こういった積み重ねの中で少しずつ変えられるものがあると思っています。令和6年度の予算が始まりましたが、予算がついたから課題が解決する、そんな楽なことはありません。新しく始まった予算や制度をどう活用していくか、皆さんと一緒に引き続き考えていきたいと思っていますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。	

当日の主なやりとり				備考
		市民の発言	市長の発言	(補足説明など)
1	5月18日(土) 浜風集会所	津波の避難の件ですが、ハザードマップは配っていただいているんですが、それぞれの避難所にはキャパシティがありますので、もう少し細かいガイドラインのようなものが必要ではないでしょうか。やはり1か所に集まってしまうと大変ですので、大体この地域に住んでいる人はこの避難所に来てください、というものが必要ではないでしょうか。	皆さん、津波が起きたときには、どちらに避難するかは決めていらっしゃると思いますか。おっしゃったように、あなたはここに避難してください、とガイドライン的に示すやり方もあります。ただ、どれだけの人数がどこに避難するか、ということはある程度計算できていまして、それを考えたところ、逃げてこられる方の容量ぐらいは確保できているという状況です。もし、どこに逃げたらいいのか分からないといったことがあれば、ぜひ相談いただければと思います。	
2	5月18日(土) 浜風集会所	私はマンションの理事長をしております。マンション内に共用部分があり、そこが火災時の住人の避難場所になっているのですが、津波が起こった場合などは、その場所を近くに住んでいらっしゃる方にも避難していただけるよう、総会で議決をいたしました。皆さんが何かあったときには、高層マンションの共用階にも逃げただけの場所があるのではないのでしょうか。	非常にありがたく思います。皆さんは、津波は起きてから何分後にやって来るかご存じですか。芦屋の場合は、111分で来ると言われています。43号線と言われる方もいますが、できるだけ2号線より北へ上がっていただきたいと思います。おそらく大渋滞になりますので、111分でも足りないかもしれません。ですので、垂直避難というのも非常に大事なんですね。垂直というのはつまり、山側ということではなく、今いる場所の上ということです。先ほどの高層マンションなどは、垂直避難できる大事な施設です。我々も津波のハザードマップには津波避難施設を掲載しており、そこにはマンションなども含まれています。そういった場所はマンションの方々が避難してもいいと言ってくださって指定できているものになります。	
3	5月18日(土) 浜風集会所	津波の避難所と普通の避難所がありますが、海拔ゼロメートルでも津波避難所になっているところがあります。建物そのものの高さも低いのですが、そういう場合、普通の避難所に行ってもいいんでしょうか。	2か月ほど前の神戸新聞の記事で、同じように浸水区域内に津波避難所があるという記事があり、私もSNSでそれについて説明を書きました。避難所は実は2種類ありまして、1つが指定避難所で、一般的な避難所です。もう1つは津波のときの避難所で、一時避難所というものです。津波は来た瞬間に命を守らないといけませんので、その場合には一時避難所に避難していただきます。高層マンションなどがあたります。ただ、津波が引いて命の安全は確認できたあとも、そのままずっとマンションの共用部分にいるわけにはいきませんよね。そういった時に避難するのが指定避難所で、安全が確認できた避難所から順番に避難できます。その場合、たとえ海拔が低いところでも津波の心配がなければ、そこにも避難していただけるというわけです。津波が起きた際はまず、一時避難施設に行ってくださいと思います。	
4	5月18日(土) 浜風集会所	避難所には物資や情報が集まってくると思いますが、自宅避難の場合には情報はやってくるのでしょうか。	能登半島地震でも、各地に市民の方が分散している状況で、情報の発信が課題であるというお話を聞きました。私たちとしては、やはり避難所を情報のハブとするのは大事だと思っています。自宅避難をしている方でも、結局食料や物資をもらいに避難所に通う人が出てくるんですね。その時、現在の状況等をお知らせできるような仕組みができればいいと思っています。また、避難所に行くのも難しいということであれば、やはりインターネットを含めた発信が大事です。能登でも、基本的にLINEで情報を入手している方がすごく多かったそうです。芦屋市に公式のLINEアカウントがあることは皆さんご存じですか。LINEが非常に有効だったという話でしたので、インターネットによる情報発信や広報もやっていきたいと考えています。	令和7年3月から、「あしや防災ポータル」の運用を開始しました。 災害発生時には緊急情報や避難情報、避難所の開設状況といった様々な情報を迅速に市民の皆様へ提供します。自宅避難の方も、ぜひこちらをご確認ください。 <あしや防災ポータル> https://bousai-portal.city.ashiya.lg.jp/bosaiWebPublic/#TOP
5	5月18日(土) 浜風集会所	以前焼却炉で水銀系の有害物質が出たことがあったと思います。その際、一時期ごみの償却を西宮市に委託していたという話も聞いたことがありますが、今回の話は神戸市と一緒にやろうという話なんですか。	以前、ごみ焼却施設内に水銀が混じり、ごみが燃やせなくなったことがありました。おそらく、古い体温計などが原因かと思いますが、明確な原因までは分かっています。それ以降は同様のこともなく、皆さんにご理解とご注意をいただけている結果だと思っています。西宮市とは、それ以前からごみの焼却について連携ができないかと話をしていたのですが、結論から言うとそれは破談になりました。破談になってからは、芦屋市単独で行うことも考えていましたが、もう一度、他市も模索すべきではないかということで神戸市と話をしているという状況です。	

当日の主なやりとり				備考 (補足説明など)
		市民の発言	市長の発言	
6	5月18日(土) 浜風集会所	先ほどのお話で、ゼロカーボンシティの話と、神戸市との連携という話がありましたが、1つ疑問を感じたので質問させていただきます。芦屋市が二酸化炭素の排出量をゼロにするという目標を掲げているとのことですが、ごみの焼却を神戸市にしてもらうとなると、芦屋市での二酸化炭素排出量は減っても、結局神戸市で増えてしまうのではと思います。これでは実質的に二酸化炭素を減らしていることには繋がらない気がします。また、二酸化炭素の排出量が減ったという見せ方では、実際にごみが減ったという話には繋がっていないようにも思えました。指定ごみ袋を導入したことでごみの削減につながったことは素晴らしいことだと思いますので、引き続き、ごみを減らし、きちんと分別していくことは芦屋も神戸も一緒になってどんどん進めていくべきですね。	その部分だけ見ると実質的な二酸化炭素の排出量の減少には繋がっていませんね。どこで燃やしても排出量は一緒だろうというのはおっしゃる通りです。ただし、日本の電気の75%ほどは火力発電です。なので、電気を別の方法で作るとなると、それがそのまま二酸化炭素の排出量を減らすことに繋がります。同時に、ごみ処理場を動かすために電気を使用していますが、その電気の一部も自分で賄えるようにすれば、火力発電で作られた電気を買う量も減りますので、エネルギーの部分で、大分減少に繋がる計算になると思っています。二酸化炭素の排出量減少がごみ減少に繋がっていないのではないか、というのは確かにそう思われる可能性もありますので、今後の発信の際には気をつけていきたいと思っています。ありがとうございます。	
7	5月18日(土) 浜風集会所	バス路線の変更について、この地区はJR芦屋駅直行便が3本ありましたが、それが1便になってしまいました。利用者のほとんどが高齢者です。1停留所に10人前後が乗るところもあり、杖を持った方や足の悪い方が立って乗らなくてはいけない状態が続いています。便を増やさないと危険です。私も何回か阪急バスに言いましたが、できませんの一点張りです。「シーサイドセンターで乗り換えてください」と言われますが、その料金は別で払わなければいけません。せめて乗り継ぎの制度を作っていただきたいと思います。	バスについては基本的にバスに乗る人が減っているため、金銭面で継続が難しいことや運転できる人がいないという状況があるそうです。我々としてできることは、その路線に限った話ではないですが、皆でバスを利用することです。皆が乗らなくなれば、気づいたらバスがなくなっていたということもあり得ますので、できる限りバスを使っていただければと思います。市としては、やはり市民の皆さんの交通手段を確保するということは、どういう状況であれ大事なことでですので、バス会社に対しても皆さんの声を伝えていきますし、打開策がないかどうかも含めて考えていきたいと思っています。ありがとうございます。	
8	5月18日(土) 浜風集会所	他の自治体の話ですが、市がローカルのミニバスを運行しているところもあります。浜風地域は駅からも離れていますし、将来的に考えてもいいのではと思います。	コミュニティバスなどの議論は至るところで話にのぼるのですが、市としては、まずはバスの便が1便もないところから手をつけたいと考えています。三条町などの山手地域の一部のエリアに公共交通の空白地があるのですが、そこは坂道というところもありますので、まずそこからだと思っています。実はこの令和6年度に実験しようとしているのが、デマンド交通というものです。乗りたいときに、予約をして乗るものです	
9	5月18日(土) 浜風集会所	昨今タクシーが捕まらなくなりました。高齢化社会は一層進んでいきますし、この問題は対処しないと、みんな困ると思います。例えば浜風地区の最寄駅は打出駅で、健常な足で歩いて20分ぐらいかかりますが、高齢者や、障がいをお持ちの方が道中で休憩したくても、腰を下ろす場所が1か所もありませんので、ベンチを設置してもらいたいと思います。	ご意見ありがとうございます。	
10	5月18日(土) 浜風集会所	指定ごみ袋になってからは、地域の皆さんにごみ袋をお配りしたり、間違えてごみを出すことのないように徹底して、大半の皆さんが協力をしてくださっています。ただ、故意ではなく、認知症が理由で指定ごみ袋のことを判断できない方も何人かいらっしゃいます。そういった方には、ご家族に連携をしていたいたり、ケアマネジャーさんや、またひとり一役運動なども活用するなどして、10件ほどはそういう手配もさせていただきました。他の地域などでも同じ問題はあると思うのですが、どのような対処をされているのでしょうか。	皆さんお住まいのところで、そういった課題はありますか。ほかの地域ですと、例えば認知症の方に限らず、お体が不自由になってしまわれて、ごみ出しができないようなケースもあります。そういう場合、例えば行政では、さわやか収集という形でお家まで伺って、ごみをいただいて帰るということをしていたり、先ほど言っていたいただいたひとり一役活動で、自分が出すついでにごみを出してあげようかという方と、ごみを出してほしい方をつないだりしています。ただ、そもそも指定ごみ袋に入れていなかったら持って行けないという問題は確かに残りますね。ご指摘ありがとうございます。	
11	5月18日(土) 浜風集会所	私は垂直避難するような建物に住んでいますが、避難しなければならない状況になったとき、ゼロ海拔の海技大学に行くよりも、むしろ私たちの建物を避難所に指定をしていただいた方が、高齢者の方が遠くまで行かなくて済むのではないかと思います。また、最終的には避難物資などもそこに入るようにしていただくことができればいいですね。私たちも各倉庫に避難物資をそろえようとは思っていますが、全部が全部、自分たちだけでそろえるのも難しいので、そういったことも考えていただければと思います。避難所に行かなければ避難物資が手に入らないようでは、これからの超高齢化社会では運営が難しいのではと、懸念しているところです。	避難所指定のご相談については、防災安全課でお話を伺えます。一度お話をさせていただければと思います。ありがとうございます。	

当日の主なやりとり				備考 (補足説明など)
		市民の発言	市長の発言	
12	5月18日(土) 浜風集会所	芦屋市は小さい割には市道での交通事故が多いと感じています。近所に人身事故が起きる交差点があるのですが、市道だということが分かったので、市に相談しました。市の回答は、「止まれ」の看板や、「減速」という指示で対策をしていますということでしたが、それでも同じ状況が続いています。カーブミラーの設置も提案しましたが、カーブミラーは車用につけているため、人を感じするためにつけることは考えていないとのことでした芦屋市として市道の管理はどのようにされているのかお聞きしたいと思います。	ありがとうございます。後でその場所を教えていただければと思います。交通安全については、警察とも連携して取り組んでいるのですが、芦屋はやはり小さく、曲がりくねっていて見通しが悪い道が多いですね。道路をまっすぐにできれば一番いいですが、やはり今までに創ってきたこのまち並みを保つことと、どちらを優先するかという話になってしまいます。それこそ近くに住む方であれば大分気をつけてくださっていると思いますが、今回のお話は普段その場所に来られない人にどう注意を促していくかが大事だと実感しました。	
13	5月18日(土) 浜風集会所	私は足が悪く、足がなかなか前に出ず進むのに時間がかかります。横断歩道の時間をもう少し長くならないかと思います。特に43号線は早いと思います。エレベーターがついていれば歩道橋も利用できますので、なるべくつけていただければと思います。	横断歩道の信号の時間ですね。ご意見ありがとうございます。	
14	5月18日(土) 浜風集会所	自転車のマナーが悪いと思います。シーサイドセンターのバス停辺りは道が狭いのですが、近くの宮川大橋からスピードを出してカーブしてきて大変危険です。こどもに注意したこともあります。後ろからくる保護者らしき方も同じ状況でした。学校でも自転車マナーについてはお話があると思うのですが、徹底してほしいと思います。警察の方に、「自転車を降りて通行してください」という看板を立ててほしいともお伝えしましたが、聞いてもらえませんでした。	自転車のマナーについては、学校でも授業をしているのですが、ヘルメットも努力義務化になりましたので、伝え方なども工夫しながら取り組んでいきたいと思います。ありがとうございます。	
15	5月18日(土) 浜風集会所	芦屋市はいろんなところに小さな公園がありますが、ボール遊び禁止の公園も多く、学童期や中学生が使える公園が少ないように思います。公園の近くには家があるため危険ということなのでしょうが、結局、こどもたちは公園でゲームをしています。そうすると今度は近所の方から「今時のこどもはゲームばかりして」と言われ、こどもたちは一体どこで遊べばいいんでしょう。潮芦屋ビーチもボール遊びが禁止で、ホームページによると「潮芦屋ビーチの利用は兵庫県知事の許可・届出の必要がない散策等の利用のみとします」とあります。10数人でラジオ体操をしているだけで管理者がやってきて、許可がないのに体操したら駄目と言われるそうです。教育委員会にも何回かお話をしたこともあります。考えておきますと言われたまま、何年も経ってしまいました。公園や、潮芦屋ビーチのあり方について、市はどのように考えられているのでしょうか。	潮芦屋ビーチの使用に制約があるのは、やはり公園の話と同じく、近隣の家が近いというのが理由です。先ほどの公園の話と同様ですね。過去にビーチで遊んでいた人たちのマナーが悪かったのかもしれませんが、近くでいうと釣り客のマナーが悪いという話もあったりと、あの近辺で遊んだり、楽しんだりしたい人たちと、近隣住民の方々との関係性が複雑になっているのが現状です。ビーチに関しては県のもので、市が使用許可することはできないのですが、市としても県や近隣住民の方々との三者で協議の場を持ち、話し合いを続けています。ビーチを整備したのはやはりみんなが楽しめる場所にするためだと思っていますので、ゆくゆくはそういった形になるのべきだとは思いますが、近隣住民の方々のご協力あってのことですので、どう折り合いをつけていくか、ずっと協議をしている状況です。少しずつ前に進んではいるので、引き続き協議していきたいと思っています。	
16	5月18日(土) 浜風集会所	以前から電柱・電線の地中化を進められていますが、電線が多いところは、無電柱化するにあたって、木が伐採されることになるんでしょうか。二酸化炭素の削減にも繋がらないし、花と緑をいっぱいにしたいのであれば、伐採せずにすむ方法もあるんじゃないかと思います。芦屋市の緑が好きなので、木を切ってまで地中化しないといけないのかと思ってしまいます。	芦屋市は無電柱化に力を入れており、日本で最も無電柱化が進んでいる自治体の一つです。被災時に電柱が倒れて救急車が通れないという話はよく聞きますので、防災のことを考えても無電柱化は進めていくべきだと思っています。 無電柱化をするには色々方法があるのですが、芦屋市が今やっているのは、電線を地中に埋める方法です。地中に埋めるということは、歩道を掘り起こす必要がありますので、その歩道に木があれば切らざるを得ません。朝日ケ丘町のさくら通りがすごく象徴的な例なんです。あそこは無電柱化した後、もう一回植え替えを行っています。そうすることで、電柱が全くない、きれいな並木道になっており、他の場所でもそういった形にできればと思っています。実は若い木の方が二酸化炭素は吸いますので、排出量を見無視しているということでもありません。近隣の皆さんからすると、当然愛着があるとは思いますが、ちゃんと植え替えて、またみんなで育てていこうと思っていますので、ご理解いただければと思います。余談ですが、たまに何本かおきに木を切っているところがあると思います。なぜ切ってしまうのか聞かれることがよくあるのですが、実はそれは、木が大きくなり過ぎて、共倒れになる危険性があるからなんです。農業の間引きみたいなものなんですね。それも、全体のことを考えてやっていますので、もし見かけることがあれば、ご理解いただければと思います。	

当日の主なやりとり				備考
		市民の発言	市長の発言	(補足説明など)
1	5月18日(土) 市民センター	道の歩きやすさは高齢者にとって大きな問題ですが、景観もとても大事です。芦屋川沿いは道が狭く、車椅子も通れないという意見もありますが、私は歩行者が気をつければ良いと思っています。私たちが別の道を歩くなど努力すれば、芦屋川の景観は守られます。ただ、津波があった時には、努力ではどうしようもありません。市は、浜側に住んでいる人は43号線よりも北に逃げてくたさいと言いますが、いつ地震が起きるか分かりません。停電して真っ暗かもしれませんし、真夜中の冬かもしれません。そんなときに43号線まで逃げられるでしょうか。3階以上の建物であれば避難が可能ですが、ある日突然条例ができ、浜側では3階までしか建てられません。景観もちろん大事ですが、43号線より南は津波の危険を鑑みて、条例の特例があってもいいと思います。	この話は、いわゆるまちづくり協定という形で、地域の皆さんと、我々もアドバイザーとして参加しながら、ここは何階建てまでにしようかと決めていったのではないかと思います。場所によってルールも異なりますので、原則として、まずは地域の皆さん同士で話し合いを、しっかりと応援していきたいと思います。行政が上から指示しては、いざというときにうまくいかないと思いますので、地域の中での対話をぜひお願いしたいと思います。 ※当日の説明に一部誤りがありましたので、備考欄に正しい内容を記載しています。	高さ制限も含めた土地利用の制限については、市民意見を聞くなど必要な法定手続を経て定めております。 津波発生時には、より安全な国道43号以北への非難を推奨しておりますので、日常からどの経路で避難するかなどを皆さんで話し合っていただければと思います。
2	5月18日(土) 市民センター	景観はともかく、津波が起こったときなどは、行政も混乱していると思いますので、早急な支援は期待できません。そういう時に備えて必要なのが地元でこの「対話集会」だと思います。自分ひとりが考えるだけではなく、地域の人たちが一緒になって対策を考える場と対話を設け、行政に要請しなければならないことがあれば要請するといったことが必要だと思います。市長は一生懸命、対話が大事だとおっしゃっていて、これには大賛成ですが、肝心の我々市民の中に対話というものがきちんとあるのか疑問に思います。	ありがとうございます。自治会に入ってる方はどれぐらいいらっしゃいますか。…7割ほどですね。自治会の集まりに行ったことがある方はどれくらいでしょうか。…半分弱ぐらい。津波の時どこに逃げるなどといった防災の話を地域でお話しされている方はどれくらいでしょうか。…2、3割ですね。実は今、芦屋市は地区防災計画を作ろうと動いています。どういうものかということ、避難の仕方は例えば海側と山側では全く違いますので、地区ごとにどういう避難をすればいいか、どういう危険性があるのかということを含みなで話し合っ避難計画を作っています。今年度また新しく2つの地域でやっていただけることになりました。おっしゃっていただいたように、地域の皆さんでの話し合いは、一番大事ですので、我々としてもできるだけ応援はしていきたいと思います。	
3	5月18日(土) 市民センター	先ほど市長がおっしゃったまちづくり協定として、会長や委員、会計を決めて、市の方にアドバイスをもらいつつほぼ1年かけて協定案を作りました。100名ほどのうち約7割が賛成でしたが、それ以外の方が老人ホームに入っておられるとか、海外にいらっしゃるとか、いろんな事情があり最終的に約1割強の方の賛成が得られず、協定を締結できませんでした。有識者の方に相談しましたが、もう1年かかるとのことでは会長も含めみんなギブアップしてしまいました。なかなかハードルは高いです。	情報提供いただきありがとうございます。	
4	5月18日(土) 市民センター	地域の対話に関して、地域の方同士で関わりを持つためにも、地域のイベントの広報などを上手にやっていただくと、もっと芦屋のいいところが出てくるんじゃないでしょうか。東京都などでは、とにかくLINEで頻繁に広報が来ます。そういうことができれば、それぞれの地域での話し合いなどにも、参加しやすいかと思いました。	皆さん、普段は市の情報はどこから入手されていますか。「広報あしや」や掲示板の方が多いですね。芦屋市のLINEをご覧になっている方はどのくらいいらっしゃいますか。あまり見ていらっしゃらないですかね。芦屋市のホームページなどはどうでしょうか。ここに来られている方は市のことに関心をお持ちになっている方が多いですね。ありがとうございます。	
5	5月18日(土) 市民センター	以前、側溝に段差があり、車椅子の前輪が引っかかって母が転倒し、頭を打ってしまいました。段差がない、バリアフリーの状態であればそういうことにはなっていないので、何か対応を考えていただけないでしょうか。	担当課にすぐにお繋ぎしますので、場所などの詳細について後ほどお伝えください。 皆さんも普段、段差や、白線が消えているとか、道路がひび割れているとか気づかれることがあるか と思います。先ほどLINEの話をしましたが、実はそれをLINEで通報できる仕組みがあるんです。見つけた場所で写真を撮っていただいて、その場所と併せて送っていただければ、担当の者がそれを確認して、すぐ対応が可能であればすぐに対応します。道路や街路樹、公園を直すのは職員ではできませんので、業者に依頼して直してもらうのですが、直すのはできるだけ早い方がいいですね。ですので、現在は業者に直接連絡がいくような仕組みにしています。市役所で1回ご連絡を受けて、そこから業者に伝えて、となると二度手間ですので、すぐ対応できるようそういった仕組みにしています。LINEのほか、お電話いただくことも可能ですので、ぜひご活用いただければと思います。職員の方でももちろん見て回ってはいますが、公務員の数もどんどん減っている中、全てを職員で見つけるというのは難しい状況ですので、LINEを活用などいただきながら、ぜひ皆さんの力をお借りできたらと思っています。	

当日の主なやりとり				備考 (補足説明など)
		市民の発言	市長の発言	
6	5月18日(土) 市民センター	さくら参道の桜が見事だったのですが、全部切り倒され、名前のイメージにそぐわない景観になっています。何十年もかかって咲いた見事な芦屋の桜をなぜ切ったんだろうと思いました。綺麗に成長していく現代的な芦屋もいいですが、古き良き芦屋のイメージも残していただきたいと切に思っています。電柱を地下ケーブルにするために、桜が邪魔だという話も聞きましたが、いまだに電柱も残っており、意味がなかったのではと感じています。	私も4月にさくら参道を見に行きました。というのも5年前に私がインターンをしていたときに、無電柱化工事を視察したこともあり、それから5年経過して様子がどうなってるか確認するためです。さくら参道はこの1月、2月に全ての電柱がようやく抜き終わったところですが、一般的に、無電柱化にどうしてもこんなに時間がかかるかというと、電線にはいわゆる電気や通信のほか、警察のケーブルなども入っているんですよ。電柱や電線を地中化しようと思うと、市のお金で全部やるわけにはいけないので、関係している電気会社やNTTさんに負担してもらうのですが、警察の方はというと、県の管轄ということもあり、なかなかお金を出すことができず、そういった場合には地中化がスムーズに進まず電柱が残ってしまうというケースがあります。さくら参道がこのケースにあてはまるかは定かではないですが、芦屋市は一般的にそういうケースが多いです。ようやく全ての電柱を部抜き終わりましたので、少しは電柱がない景観を楽しんでいただけたと思いますし、桜に関しては、新たに植えた桜が少しずつ枝も大ぶりになってきてますので、ぜひ地域の皆さんと一緒に楽しんでいただければと思います。	
7	5月18日(土) 市民センター	霊園近くの甲南高校からの道で抜け道になっている箇所があり、その先が六麓荘を通過して宝塚に抜ける道になっているのですが、よく5時過ぎ頃になると、抜け道を通して来られる事業者の方がいます。霊園の入り口で東側も西側も急に上り坂になっていることもあり、歩行者からすれば車が急に現れます。横断歩道もあるのですが、それを知らない方は車のスピードを落とそうとしません。事故があってからでは遅いですので、ここに横断歩道があるということをはかるようにしてください。	担当課に確認させていただきます。ご意見ありがとうございます。	
8	5月18日(土) 市民センター	ゼロカーボンシティの話で、指定ごみ袋になってから、ごみの量が7.6%も減ったというのは成果だと思います。でも芦屋は1人あたりのごみの量がすごく多いですね。これは大きな問題だと思いますので、ゼロカーボンライフを目指した地球に優しい取組を市長には期待しています。また、最近ごみ収集日アプリが始まりましたが、どうやったらごみの排出量を減らせるのかというような皆の知恵を集める、そういうアプリもあったらいいのではないかと思います。ごみゼロのアプリなどは例がありますが、皆の知恵を寄せ集めるというものは見たことがありません。私はそこに可能性があると思いますので、ぜひ芦屋から始めていただけないかと思います。集めた知恵を発信できたりしてもいいですね。鹿児島県の日置市などでは、町全体でコンポスト化などに取り組み、成果をあげているようです。	実は来月、「広報あしや」で環境について特集をするんです。その中では、生活の中でこういうことに配慮してもらえませんかという市からの呼びかけや、今年度、環境に関する新しい補助制度を始めますので、そちらについても掲載しています。環境に関することは、まずはそういったところから始めていきたいと思っています。ごみをどう減らすかは、まさに市民の皆さんからの様々な意見やアイデアが必要ですし、またごみを減らしたいけどどうしたらいいのかわからない、といった話もあると思いますので、担当課とも話しながら、いい方法を考えたいと思います。	
9	5月18日(土) 市民センター	ごみ処理施設の広域化の説明があり、その中でごみ出しのルールが変わらないとおっしゃっていましたが、補足が必要なのではないかと思います。芦屋市はプラごみを燃やすごみとして出していますが、ルールが変わらないと言われると、広域化した後でも芦屋市が神戸市に持っていくのは、プラごみ込みの燃やすごみですよ、と聞こえます。	芦屋市は今までごみ処理場を建て替える計画をしていたのですが、現在は神戸市と一緒に連携して処理することはできないかと検討している状況です。ただ、ごみ処理を芦屋市単独でやるか、神戸と一緒にやるかにかかわらず、プラごみの分別はどこかのタイミングで絶対にやるべき時がきます。いつから始まるかはまだ決まっていますが、有識者の人たちからの意見でも、プラごみの分別は絶対やってくれと言われている状況です。おっしゃるように、こういった点も説明した方が分かりやすいですね。	

当日の主なやりとり				備考 (補足説明など)
		市民の発言	市長の発言	
10	5月18日(土) 市民センター	防災の件で、今後は在宅避難も増えてくると思います。特にコロナ以降、皆さん自宅が安全なら在宅避難の方がいいという考え方も増えました。ただ、在宅避難をする人は、行政の手を借りず、自分たちで何とかしていくという覚悟の下に選択するわけです。水も食べ物も全部、自分で用意するということです。今まで避難所に来ていた人が在宅避難をするようになったら、今後、避難所はどのような形で運営していくのでしょうか。芦屋市の避難所は今まで通り安心して来られる場所というアピールをしていただかないと、いつまでたっても町内の自主防災会で何とかしないといけません。防災計画を作っている自主防災会もありますが、形だけのところもありますし、果たして災害時にうまくいくのか分かりません。防災の根本は、地域の人たち同士で対話をして、お互いを助け合うことです。目先のことは皆さん行動を起こしやすいですが、いつ来るか分からないことに対しては非常に鈍いのではないかと思います。芦屋市が他の自治体よりも安全安心だと言うならば、いざというときの避難所運営に対するビジョンのようなものを打ち出していただければと思います。	確かに、在宅避難者が増えることで避難所に行く人が減るという予測をした上で、「避難所にはどういった方々に来ていただきたいか」「避難所でどういうことができるのか」は打ち出し方を考えていかなければなりませんね。1点だけ強調したいのは、在宅避難を選ばれたとしても、行政が全く関わらないということはありません。能登では、被害の少ないご自宅や、近所の大きな家にご自身で避難をしている方も多くいらっしゃるようですが、そういう方々と行政が完全に切り離されているかといえばそうではなく、例えば避難生活のいろんな情報を得たりだとか、物資を得たりだとか、そういう拠点となっています。同じように、在宅避難している方について、行政は全く知りませんということではなくて、引き続きサポートしていきたいと思っています。今後は、そういったことも踏まえて発信をしていきたいと思っています。	避難所に避難する場合に「避難者カード」という世帯の基本情報等を記入していただく書類の提出が必要ですが、在宅避難者にも同様に「避難者カード」の提出をお願いしています。それは在宅避難者に食糧等の支援物資の供給を行うため、どれくらいの市民が在宅避難者されているか市で把握をする必要があるからです。また、支援物資が届くまでにも時間がかかる場合が想定されるため、それまでの期間を過ごすための備蓄品の用意を各ご家庭で備えていただきたいと考えております。
11	5月18日(土) 市民センター	ごみの回収について、瓶とか缶の回収が少なく、出すときにすごい量になるんです。西宮では、1週間に1回ぐらいでしたので、それくらいにしていいただけたらありがたいです。	資源ごみの話ですね。確かに市が回収している日は1か月に1回程度ですが、自治会の回収日もあるのはご存じでしょうか。あまり知られていないかもしれませんが、市とは別に自治会で毎週回収しているところもあります。その場合、資源を出していただくと、自治会の収入になるので、地元のためにお金を使うこともできます。多くの自治会は何か所も回収スポットがありますので、家の近くに置いておけば回収してくれます。収集場所で回収する場合などでは、段ボールや缶、瓶などまとめて回収するところも多いです。ぜひご確認ください。	
12	5月18日(土) 市民センター	こどもたちに対する安全安心ということで、市長もすごく頑張ってくださっているライト坂の件です。大きな事故は減ったとは思のですが、やっぱり小さな事故は何度も起きています。柵も頑丈なものができていますが、柵の切れ目のところでぶつかることも続いています。また、通学路の中でも、すごく滑りやすいところがあって、雨の日に転んでしまったという話も聞きます。学校の安全がまだ守られていないことがあるかと思いますが、現状をお伝えてきたらと思います。	ライト坂のガードレールについては、秋頃に県が高速道路並みの強いガードレールに変えてくださるそうです。エンジブレーキの啓発もですが、やはり何かあったときにこどもの命を守らなければいけませんので、引き続き考えていきたいと思っています。ガードレールが途切れたところで事故があるというのは初めて聞きましたので、確認いたします。ありがとうございます。ご不安な時には、学校の中だけで解決するのではなく、教育委員会にご報告いただければと思います。	
13	5月18日(土) 市民センター	JR芦屋駅南の再開発の関係の件で、まだ同意をされてない地権者の方がおられるんじゃないかと思っています。私たちも新しい地域づくりのために動きたいという気持ちはありますが、自治会の中でも意見は分かれていますし、市と話ができていない方も何人かおられると聞いていますので、ぜひとも総力をあげて動いていただきたいと思います。また、住むだけで健康になれるまちを創るには、市街地の公園計画なども非常に重要な視点だと思いますので、5年後、10年後のもっと将来的なビジョンを示していただきたい。他市では実際にビジョンとして絵でも上がっています。芦屋市にはありません。市街地でない部分の緑化計画とかまちづくりなどは進んでいるようですが、大事なのは市街地公園計画だと思いますので、よろしくおねがいます。	JR芦屋駅南の事業は、地権者の方々の協力がないと進まない事業ですので、そこはしっかりと対応していきたいと思っています。おっしゃった話と直接関係はないかもしれませんが、実は芦屋市でも1つ検討することがあります。芦屋川の東西には往復車線がありますが、それを1車線で一方通行にできないかということで、どういう結果になるか、一方通行にするともしないとも決めてはいませんが、現在シミュレーションをやっているところです。結局、芦屋市で緑化計画をやりにくい一番の理由は、場所がないというところですので、そういう意味では芦屋川周りをどういうふうに通整理していくのかなども考えてながら進めたいと思います。また、今後の目指す都市像の実現に向けた指針となる都市づくりビジョンも今、作っているところです。今年度と来年度、2年間かけていろいろ計画を作っているところですので、徐々にまちづくりのビジョンは出していけるとしています。その時には、分かりやすい資料となるよう検討したいと思っています。ありがとうございます。	
14	5月18日(土) 市民センター	芦屋市でも高齢化が進んでいると思うのですが、高齢の方とお話する時に、よく気候の話になります。年々温暖化で非常に暑くなっており、高齢の方が亡くなるのも夏の時期が多いそうです。例えば公共施設などで、高齢の方が集まれるようなクーリングシェルターのようなものは、芦屋市にはあるのでしょうか。例えば薬局などで、24時間いつでも暑いときに涼みに来てくださいますところもあるらしいのですが、芦屋市ではどうでしょうか。	公共施設で24時間となるとなかなか難しいところではありますが、例えば図書館や、総合公園のクラブハウスや集会所などは活用いただけますので、そういった場所で涼を取っていただくのも1つです。また、おっしゃったような民間のお店に立ち寄られるというのも1つですし、あとは何といっても市役所であれば、給水できる場所もありますので、いつでもご活用ください。	